

(川崎さん)

今のお話の流れでいくと、お役所が決めた個別避難計画というのが、机上の空論みたいになっていて、実質的にはほとんど役に立っていない状況なのです。

例えば、普段から避難訓練的なものを地域で、自分たちみたいな状況の者に対して、どういう風にしたら、良いんだろうか。自分たちは地域の人たちをお願いしたことに対して、どういう風に応えていただけるようにすれば、良いのだろうか、という具体的な訓練というか。

避難訓練みたいなものをうまく作って、仕組みを作って、常日頃からそういう訓練活動をやっていけば、それぞれの意識も変わっていくのかな、という気持ちはちょっとありますけどね。

あくまでも、お願いします。助けて下さい。というのが、ベースになるんだろうけど。自分じゃ何もできないから。

(桶屋さん)

自分はそうだったからね。

(川崎さん)

自分は在宅で経験したから、そういう思いがあるのでしょうか。けれども、個別避難計画があっても、現状はお話があった通りなので、自分はもう家も、公費解体してなくなったので帰るところがないですから、施設に残るつもりでいますけれども。

在宅であろうが、施設に入所していようが、助けを求める時に、その声が届くのかなという不安は今も、今日時点でもありますけど。今日お話を聞いて余計に不安になったというか、その通りだな、という気がしたのですが、そういう思いです。